



2019年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年6月28日

上場会社名 ナガイレーベン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7447 URL <https://www.nagaileben.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤登 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 徳江 健 TEL 03-5289-8200
 四半期報告書提出予定日 2019年7月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第3四半期の連結業績（2018年9月1日～2019年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	12,916	△4.2	3,786	△10.2	3,839	△10.1	2,649	△10.1
2018年8月期第3四半期	13,477	0.2	4,215	△2.0	4,272	△2.5	2,947	△2.2

(注) 包括利益 2019年8月期第3四半期 2,605百万円 (△13.4%) 2018年8月期第3四半期 3,009百万円 (△0.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年8月期第3四半期	79.68	—
2018年8月期第3四半期	88.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第3四半期	43,134	38,973	90.4
2018年8月期	42,643	38,345	89.9

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 38,973百万円 2018年8月期 38,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年8月期の連結業績予想（2018年9月1日～2019年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	2.7	5,242	△0.4	5,304	△0.6	3,650	△0.7	109.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年8月期3Q	38,236,000株	2018年8月期	38,236,000株
② 期末自己株式数	2019年8月期3Q	4,983,157株	2018年8月期	4,989,551株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年8月期3Q	33,249,742株	2018年8月期3Q	33,246,449株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. その他	8
販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、日銀の金融政策や政府の経済政策により企業業績や雇用情勢は穏やかに回復しているものの、米中貿易摩擦の動向や中国経済の減速などにより景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

医療・介護を取り巻く環境としましては、昨年4月の診療報酬及び介護報酬のダブル改定を受け病床再編の動きが顕著となり、新たな医療・介護の機能分化と連携への供給体制の確立に向け着実に前進しているものと見受けられます。また一方では、今年10月に予定されています消費税増税に伴う診療報酬・介護報酬の改定及び薬価の見直しに対して活発に議論がなされているところであり、その動向に注目が集まっております。

このような環境の中、第3四半期連結累計期間のメディカルウェア市場環境は比較的安定して推移したものと推察されます。

当社グループ(当社及び連結子会社)の第3四半期連結累計期間の売上は、ヘルスケアウェアの更新物件の一部に月ズレが発生し、前年対比4.2%の減収となりました。当期は元々第4四半期に更新物件が集中していることに加え、患者衣の新規取組みも決定していることから、更新物件の来期への期ズレもありますものの通期ではほぼ前年並みの売上に回復するものと見込まれます。

当期当社グループは、国内縫製工場(ソーイングセンター)の新設と役員退職慰労金制度の廃止を行いました。この特殊要因により、国内縫製工場新設に伴う減価償却費の増加、不動産取得税の発生、及び役員退職慰労金制度廃止に伴う功労金の発生がありました。

売上高総利益率は、海外での人件費上昇による原価アップを為替先物予約による円高効果及び海外生産比率の増加にてカバーし、前年同率の利益率をキープしたものの、新工場新設に伴う特殊要因の諸費用が0.3%原価を押し上げた結果、前年同期比0.3%ダウンの46.7%となりました。

販管費及び一般管理費は、前年同期比2.0%で推移しておりますが、当期特殊要因である役員退職慰労金制度廃止に伴う功労金81百万円が発生しており、前年同期比5.9%アップの22億40百万円となりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては129億16百万円(前年同期比4.2%減)、営業利益は37億86百万円(同10.2%減)、経常利益は38億39百万円(同10.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は26億49百万円(同10.1%減)を計上いたしました。(今期特殊要因を除いた場合の営業利益は、前年同期比7.3%の減少となります。)

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は431億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億91百万円増加いたしました。流動資産合計は337億23百万円となり5億2百万円増加し、主な要因は、受取手形及び売掛金の増加11億3百万円、電子記録債権の増加6億81百万円、現金及び預金の減少12億22百万円、たな卸資産の減少1億3百万円等であります。固定資産合計は94億10百万円となり、11百万円減少いたしました。その内訳として有形固定資産は78億23百万円となり57百万円減少、無形固定資産は35百万円となり8百万円減少、投資その他の資産は15億51百万円となり54百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は41億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億36百万円減少いたしました。流動負債合計は31億34百万円となり2億12百万円減少し、主な要因は、未払法人税等の減少3億47百万円、支払手形及び買掛金の増加30百万円等であります。固定負債合計は10億26百万円となり、75百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は389億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億27百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益26億49百万円の計上による増加、配当金の実施による19億94百万円の減少であります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の89.9%から90.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界的な景気減速への警戒感が強まっているものの、当社を取り巻くメディカルウェア市場環境は比較的安定して推移していると推察されます。

当第3四半期連結累計期間での売上高は前年同期比で減収ではありますが、第4四半期への期ズレ案件や売上拡大に向けた営業施策等を予定し、連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、2018年10月4日発表の連結業績予想について変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,930,389	22,707,764
受取手形及び売掛金	3,133,948	4,237,154
電子記録債権	1,681,395	2,363,192
たな卸資産	4,386,761	4,283,703
その他	88,917	132,579
貸倒引当金	△485	△668
流動資産合計	33,220,927	33,723,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,932,151	2,827,297
機械装置及び運搬具(純額)	344,046	380,965
土地	4,447,840	4,447,840
建設仮勘定	7,668	17,319
その他(純額)	148,688	149,896
有形固定資産合計	7,880,394	7,823,318
無形固定資産	44,771	35,839
投資その他の資産		
投資有価証券	808,947	748,878
その他	689,927	806,256
貸倒引当金	△1,800	△3,709
投資その他の資産合計	1,497,075	1,551,424
固定資産合計	9,422,242	9,410,582
資産合計	42,643,169	43,134,309
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,424,403	1,454,565
未払法人税等	1,057,975	710,257
賞与引当金	84,136	156,272
その他	779,695	813,078
流動負債合計	3,346,211	3,134,173
固定負債		
役員退職慰労引当金	198,650	22,087
退職給付に係る負債	637,861	624,485
その他	114,808	380,117
固定負債合計	951,320	1,026,689
負債合計	4,297,531	4,160,863

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	2,358,190	2,368,673
利益剰余金	38,670,570	39,325,194
自己株式	△4,902,274	△4,896,115
株主資本合計	38,051,760	38,723,025
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	341,551	299,221
繰延ヘッジ損益	15,310	3,025
退職給付に係る調整累計額	△62,985	△51,827
その他の包括利益累計額合計	293,876	250,419
純資産合計	38,345,637	38,973,445
負債純資産合計	42,643,169	43,134,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
売上高	13,477,623	12,916,747
売上原価	7,146,164	6,889,335
売上総利益	6,331,458	6,027,411
販売費及び一般管理費	2,116,280	2,240,439
営業利益	4,215,178	3,786,972
営業外収益		
受取利息	2,238	2,154
受取配当金	5,902	7,312
受取賃貸料	60,101	62,977
雑収入	18,147	9,006
営業外収益合計	86,390	81,449
営業外費用		
固定資産賃貸費用	25,713	24,689
為替差損	2,846	3,912
雑損失	558	258
営業外費用合計	29,119	28,860
経常利益	4,272,449	3,839,561
特別利益		
固定資産売却益	351	1,340
特別利益合計	351	1,340
特別損失		
固定資産除売却損	323	4,032
特別損失合計	323	4,032
税金等調整前四半期純利益	4,272,477	3,836,869
法人税、住民税及び事業税	1,403,327	1,286,032
法人税等調整額	△78,147	△98,570
法人税等合計	1,325,180	1,187,461
四半期純利益	2,947,297	2,649,407
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,947,297	2,649,407

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)
四半期純利益	2,947,297	2,649,407
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,280	△42,330
繰延ヘッジ損益	4,839	△12,284
退職給付に係る調整額	11,415	11,157
その他の包括利益合計	62,536	△43,457
四半期包括利益	3,009,833	2,605,950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,009,833	2,605,950

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、役員の退職慰労金の支払いに充てるため、役員退職慰労金支給に関する内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、2018年10月4日開催の当社取締役会において、2018年11月22日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、同株主総会において役員退職慰労金の打切り支給について承認可決されました。

これに伴い、「役員退職慰労引当金」を全額取崩し、打切り支給額の未払い分を「長期未払金」として固定負債の「その他」に含めて表示しております。

なお、連結子会社については引き続き、役員退職慰労金の支払いに充てるため、役員退職慰労金支給に関する内規に基づく期末要支給額を固定負債の「役員退職慰労引当金」として計上しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

3. その他

販売の状況

販売実績

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、品目別情報を記載しております。

品目別	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	前年同四半期比 (%)
メディカルウェア (千円)	12,779,111	95.9
(ヘルスケアウェア)	(7,448,644)	(94.5)
(ドクターウェア)	(2,090,576)	(97.2)
(ユーティリティウェア)	(350,601)	(88.8)
(患者ウェア)	(1,543,065)	(100.5)
(手術ウェア)	(1,164,805)	(98.8)
(その他)	(181,418)	(94.5)
シューズ (千円)	137,635	93.6
合計 (千円)	12,916,747	95.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。